

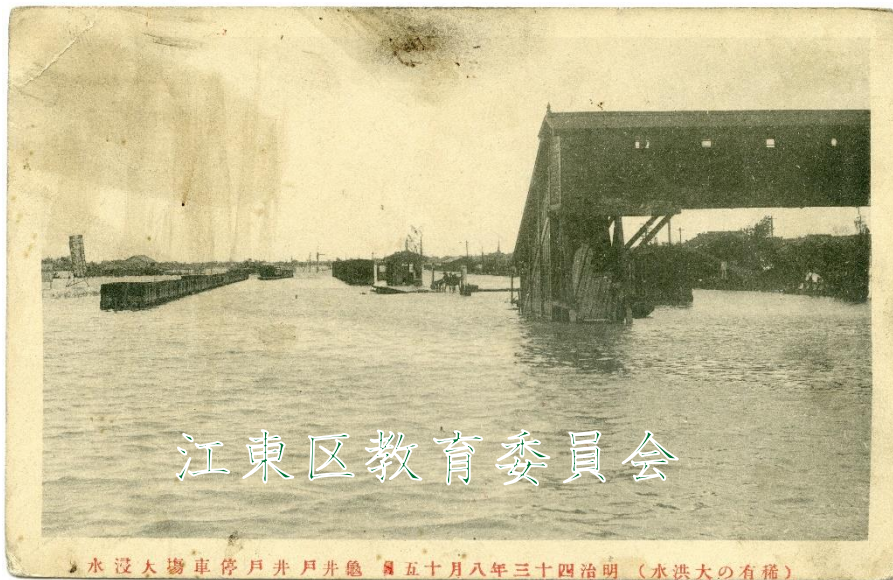
こうとうくきょういくいいんかいしゅうぞうしりょう  
江東区教育委員会 収蔵資料

えはがき めいじ たいしょうき かめいどえき  
絵葉書でみる明治・大正期の亀戸駅

かめいどえき めいじ じもとみん ようぼう そうぶてつどうがいしゃ こくゆうか  
亀戸駅は、明治32年（1899）に地元民の要望などにより総武鉄道会社（明治40年国有化  
により総武本線）によって建設の申請がなされ、同37年（1904）3月29日に開業しまし  
た。当時、駅周辺に点在する工場への通勤や亀戸梅屋敷・亀戸天神社等への行楽のため、  
乗降者数が多かったようです。

さて、今回は明治・大正期に発行された亀戸駅関係の絵葉書をご紹介します。関東大震災が起  
きた大正12年（1923）9月以前に、普通に撮影された写真は現在までに確認されていません  
が、明治43年（1910）および大正6年（1917）の水害時に撮影された写真を使った絵葉書  
があり、同駅構内の様子が窺えます。現在の駅は高架となっていますが、当時は平坦地で改札が  
1か所のため、連絡橋が架けられていました。





「(稀有の大洪水) 明治四十三年八月十五日  
 亀井戸井戸停車場大浸水)」

(ママ)

発行時期：明治43年(1910)8月頃

発行元：不明



「(明治四十三年八月東京大出水之実況)  
 亀井戸駅ノ大惨状」

発行時期：明治43年(1910)8月頃

発行元：不明



「明治四十三年八月大洪水ノ実況  
亀井戸駅濁流突破避難汽車」

発行時期：明治43年(1910)8月頃  
発行元：不明



「(大正六年九月廿日夜半)  
◀帝都大暴風雨ノ実況▶亀井戸附近ノ惨状」

発行時期：大正6年(1917)9月30日  
発行元：不明